

事後評価シート  
(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成 27 年 12 月

1. 対象事業	小松市公共下水道事業
2. 実施主体名称	小松市
3. 計画期間	平成 17 年度～平成 25 年度
4. 対象事業の進捗状況	<p>計画に基づき、以下の対策を実施した。</p> <p>汚濁負荷量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央ポンプ場：汚水ポンプ更新（遮集量 50m<sup>3</sup>/分） 雨水沈砂池のドライ化、滞水池 1,200m<sup>3</sup> の設置</li> <li>中央浄化センター：高級処理水量の増大（現有施設の有効活用による高級処理の効率化：既設 3 池利用） 公衆衛生上の安全確保</li> <li>中央ポンプ場：汚水ポンプ更新（管内滞留運転の解消） 滞水池 1,200m<sup>3</sup> の設置</li> </ul> <p>きょう雑物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央ポンプ場：雨水スクリーン目幅の縮小（粗目 40mm 細目 25mm）</li> </ul>
5. 目標達成状況と達成の見通し	<p>[ 目標達成状況 ]</p> <p>汚濁負荷量の削減（分流式下水道並み）</p> <p>BOD 放流負荷量：対策前 166,200kg/年 目標値 108,215kg/年 対策後 107,767kg/年（改善率 100%）</p> <p>公衆衛生上の安全確保（未処理放流回数の半減）</p> <p>未処理放流回数：対策前 192 回/年 目標値 96 回/年 対策後 81 回/年（改善率 100%）</p> <p>きょう雑物の削減（きょう雑物の流出防止対策）</p> <p>きょう雑物の流出防止対策：中央ポンプ場にて雨水スクリーン目幅の縮小を実施（改善率 100%）</p>
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<p>モニタリング調査（平成 27 年 6 月 26 日実施：総降雨量 28.5mm）において、滞水池 1,300m<sup>3</sup> の貯留が確認され、雨水の影響が大きい時における BOD 平均放流水質（総放流負荷量）として以下の改善効果が推測された。</p> <p>対策前（滞水池を活用しない場合）21.1mg/L 対策後（滞水池を活用した場合）18.1mg/L</p> <p>また、下水道法施行令第 6 条第 2 項等に基づく吐口からの放流水質の調査結果は以下のとおりである。</p> <p>BOD 平均放流水質：16mg/L（平成 26 年 11 月 17 日：総降雨量 14.5mm）</p>
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<p>第 1 期対策（平成 17 年度～平成 21 年度）において、中央ポンプ場の改築更新事業と連携を図り、汚水ポンプ更新、雨水沈砂池のドライ化、雨水スクリーン目幅の縮小を行った。</p> <p>第 2 期対策（平成 22 年度～平成 25 年度）において、中央浄化センターの現有施設の有効活用による高級処理の効率化（高級処理水量の増大：既設 3 池利用）を行うことにより、滞水池規模の縮小（当初 2,500m<sup>3</sup> 見直し 1,200m<sup>3</sup>）し、対策を完了した。</p>
8. 今後の方針	<p>事業の完了により、当面の改善目標は達成したところであるが、今後は貯留施設・浸透施設の導入や管路施設の長寿命化対策に併せた不明水対策を実施し、更なる水環境の改善及び保全に取り組む予定である。取り組みに当たっては、広く住民に理解してもらうための広報活動を行う予定である。</p>